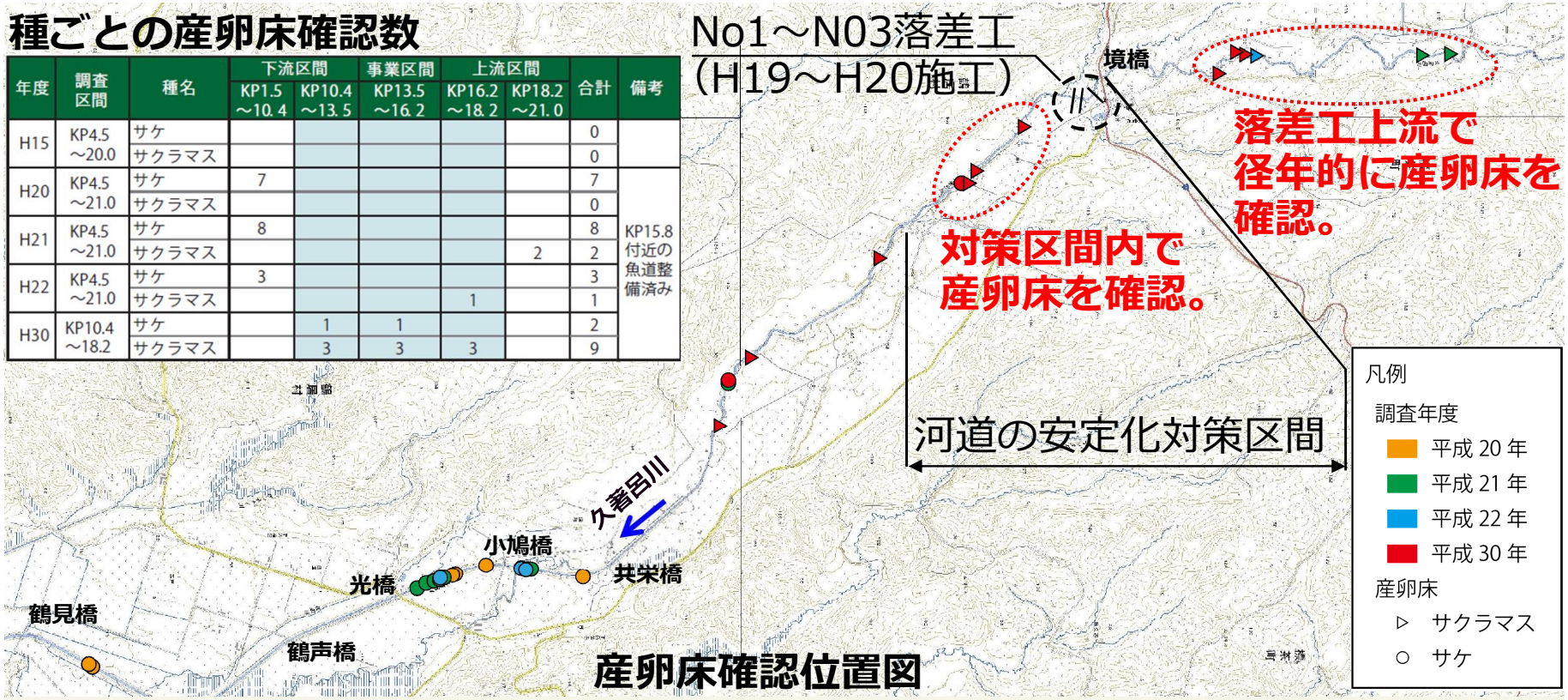
1.4　河道の安定化対策の環境面の効果

（3）対策後の状況④ 生物環境（産卵床）

種ごとの産卵床確認数

年度	調査区間	種名	下流区間 KP1.5～10.4	下流区間 KP10.4～13.5	事業区間 KP13.5～16.2	上流区間 KP16.2～18.2	上流区間 KP18.2～21.0	合計	備考
H15	KP4.5～20.0	サケ						0	
		サクラマス						0	
H20	KP4.5～21.0	サケ	7					7	KP15.8付近の魚道整備済み
		サクラマス						0	
H21	KP4.5～21.0	サケ	8					8	
		サクラマス					2	2	
H22	KP4.5～21.0	サケ	3					3	
		サクラマス				1		1	
H30	KP10.4～18.2	サケ		1	1			2	
		サクラマス		3	3	3		9	



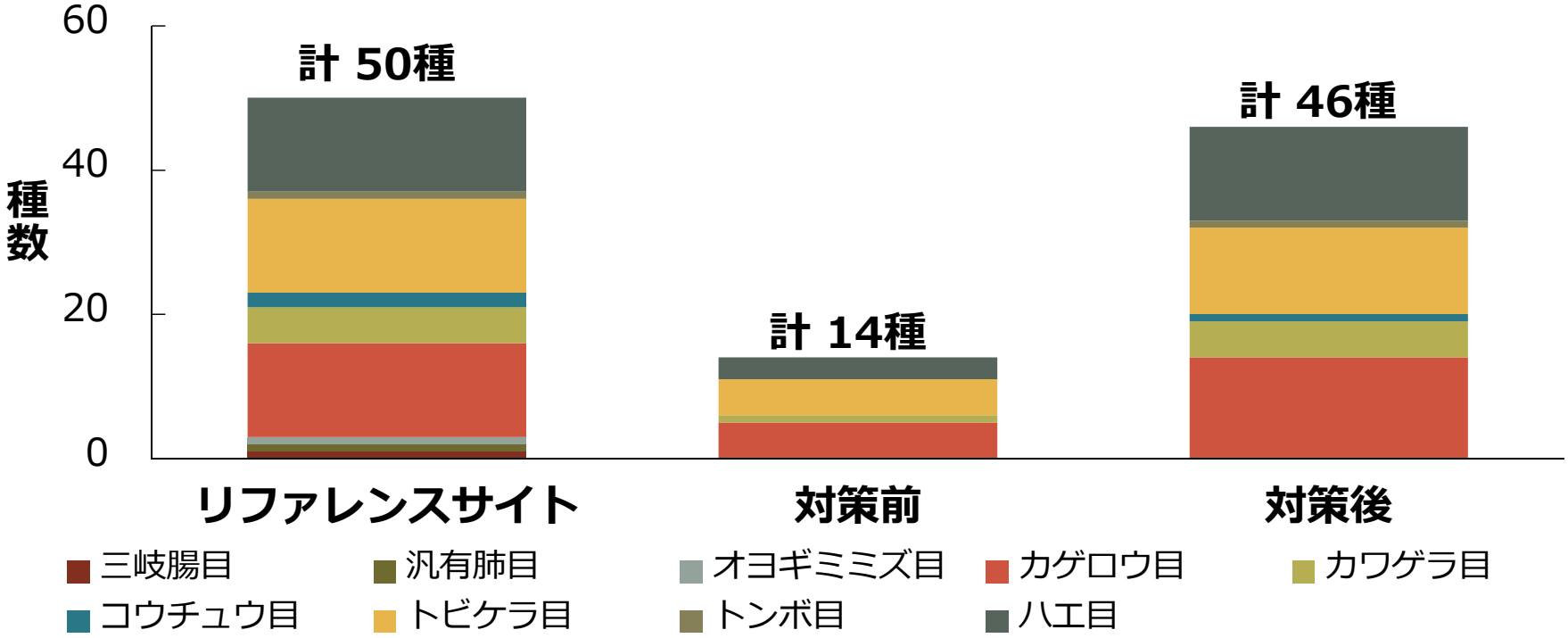
産卵床確認位置図

- 対策前は産卵床が無かったが、落差工の魚道整備後は上流までサケやサクラマスの産卵床が確認されるようになった。
- 河道の安定化対策区間内でも産卵床が確認された。

1.4　河道の安定化対策の環境面の効果

（3）対策後の状況④ 生物環境（底生動物）

■目ごとの種数



- 対策前は河床が岩盤のため、種数が14種と少なかった。
- リファレンスサイトや対策後は、河床や河岸の環境が多様なため、様々な種の底生動物が生息できている。

1.5　今後の予定

項　目		～R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7～	備　考
工事	河道拡幅	━━━	━━━	━━━					
	床止工	━━━	━━━	━━━	━━━	■ ■ ■	■ ■ ■	■ ■ ■	状況に応じ設置
モニタリング	河道形状（測量）	━━━	━━━	━━━	━━━	━━━	━━━	━━━	
	流量、流砂量	━━━	━━━	━━━	━━━	━━━	━━━	━━━	
	動植物分布、動植物相		●				●		